

## 財 産 目 録

令和4年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 長南町社会福祉協議会

事 業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金		-		-	-	11,744,141
預金		-		-	-	11,744,141
房総信用組合長南支店（一般）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	7,709,196
房総信用組合長南支店（福祉金庫）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	359,029
房総信用組合長南支店（児童クラブ）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	2,073,708
房総信用組合長南支店（日常生活自立支援）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	35,123
房総信用組合長南支店（子育て交流館）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	167,862
房総信用組合長南支店（支援対象児童等見守り強化事業支援）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	564,963
房総信用組合長南支店（居宅支援）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	834,260
房総信用組合長南支店（訪問介護）	房総信用組合長南支店	-	運転資金	-	-	0
事業未収金		-		-	-	19,954,446
立替金		-		-	-	1,291
仮払金		-		-	-	0
流動資産合計						31,699,878
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
定期預金		-		0	0	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	ユニットハウス(ダイワ)	-	事業展開用	420,000	419,999	1
車輛運搬具	日産セレナほか	-	事業展開用	7,138,198	6,476,739	661,459
器具及び備品	車いす	-	事業展開用	128,000	127,999	1
長期貸付金		-		0	0	473,400
長期貸付金		-		0	0	493,000
徴収不能引当金		-		0	0	-19,600
退職手当積立基金預け金	全国社会福祉協議会	-	将来における退職職員に備える積立	0	0	19,299,370
退職給付引当資産		-		0	0	4,323,000
共助会退職給付引当資産	千葉県社会福祉事業共助会	-	将来における退職職員に備える積立	0	0	4,323,000
積立資産		-		0	0	10,938,632
福祉金庫積立資産		-		0	0	10,014,590
千葉銀行	千葉銀行茂原南支店	-		0	0	0
房総信用組合	房総信用組合長南支店	-	運転資金として	0	0	10,014,590
福祉積立資産	長生農業協同組合長南支所	-	運転資金として	0	0	924,042
その他の固定資産		-		0	0	27,640
リサイクル料預け金		-		0	0	26,640
出資金	房総信用組合長南支店	-		0	0	1,000
その他の固定資産合計						36,723,503
固定資産合計						36,723,503
資産合計						68,423,381

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	退職積立金掛金ほか	—		—	—	22,313,444
預り金	社会保険料（事業主分）ほか	—		—	—	157,058
職員預り金		—		—	—	218,913
仮受金		—		—	—	0
流動負債合計						22,689,415
<b>2 固定負債</b>						
退職給付引当金		—		—	—	31,773,520
全社協退職給付引当金	全社協退職分	—		—	—	27,450,520
共助会退職給付引当金	共助会退職分	—		—	—	4,323,000
固定負債合計						31,773,520
負債合計						54,462,935
差引純資産						13,960,446

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。  
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。  
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。